

来週の「売り物記事」はこれ



2018年12月21日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

LGBT カミングアウトした二人の学者

「ここにいるよ」言える社会に

23日(日)



自民党衆院議員が月刊誌に寄稿した文章を批判し、この夏、東大のロバート・キャンベル名誉教授(61)と同志社大の岡野八代教授(51)が同性愛者であることをカミングアウトしました。

社会に残る差別の中で「ごく親しい人にしか明かせない」と思っていた2人を踏み切らせたものは何か。これまで自分を偽らざるを得なかった経験も含め、語ってもらいました。

筆者は医療福祉部の藤沢美由紀記者です。



それホント? 帝王切開、5人に1人に

サラダぼうる面 24日(月)



お母さんのおなかを切って赤ちゃんを取り出す「帝王切開」が増えています。この手術による新生児は1990年の9.9%から2014年には19.6%になりました。

「海外と違って、帝王切開で産みたいという人は国内にほとんどいない。やらざるを得ないということだ」と専門家は指摘します。背景には初産年齢の高齢化があるといいます。現状をお伝えします。

米国発 トップ選手を育成する「トラの穴」の実態とは

夕刊特集ワイド 25日(火)

年間を通じて温暖な気候の米南部フロリダ州はスポーツにもってこいです。テニス学校としてこの地に創設され、今年40周年を迎えた「IMGアカデミー」は、現在はゴルフやテニスなど8競技を含めた総合スポーツ施設になっています。

元プロのテニス選手で、ロザンゼルス特派員の長野宏美記者が、ここで働く日本人トレーナーの中村豊さん(46)の1日に密着し、トップ選手を育成する「トラの穴」の実態に迫りました。



迎春シリーズ お正月には、みんなでゲーム

くらしナビ面 26日(水)

もうすぐお正月。親戚や友人らで集まる機会も多いでしょう。そこでおすすめなのが、手ごろなお値段で楽しめるテーブルゲームです。

「犯人」のカードを誰が持っているかを推理する「犯人は踊る」や、プレイヤーがインカの宝物を探す冒険に出る「インカの黄金」。いろいろな楽しみ方を専門店「すごろくや」(東京都杉並区)の丸田康司社長に教えてもらいました。

「勝負の年」に向けて ニューイヤー駅伝企画

スポーツ面 27日(木)から全3回



2018年の男子マラソン界は、16年ぶりに日本記録を更新した設楽悠太(Honda)や、アジア大会金メダリストの井上大仁(MHPS)、福岡国際優勝の服部勇馬(トヨタ自動車)など、大きく成長を遂げた選手が相次ぎました。

来年9月15日には東京五輪の代表選考会となる「マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)」が控えています。「勝負の年」最初の男子長距離のビッグレースが、元日に行われる「全日本実業団対抗駅伝(ニューイヤー駅伝)」。ここで快走し、MGCに向けて弾みをつけたい有力選手を紹介します。

安倍政権6年

総合面 28日(金)から

安倍内閣は26日、発足から6年を迎えます。

安倍晋三首相は2012年の第2次内閣発足以来、経済最優先の方針のもと看板政策を次々に打ち出し、安全保障法制などで批判を浴びながらも、比較的高い内閣支持率を維持してきました。一方では「1強」政治による国会軽視の状況も進んでいます。

内政、外交の課題を点検し、政権の「最後の3年」を展望します。



【論点】 高額医療を考える 技術の進歩と患者の負担増

オピニオン面 29日(土)

医療技術は日進月歩ですが、患者の負担する医療費を押し上げている側面もあります。

ノーベル医学生理学賞を受賞した本庶佑・京都大特別教授の発見が元になったがん治療薬「オプジーボ」は超高額薬の代名詞になりました。薬剤を中心に高額医療の登場が今後も予想されています。

技術革新と医療費のあり方をどう考えるべきでしょうか。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

子育て記者、プラなし生活に挑む

くらしナビ面 29日(土)

廃プラスチックによる海洋汚染が世界的な問題になっています。環境省によると、国内ではペットボトルや容器包装の家庭ごみで年間に約400万トン以上が排出されているそうです。

そこで挑戦。外履き靴を入れるスーパーの袋を紙袋にしたり、トレー包装の鮮魚をあきらめたり……。

夫と2歳の長女がいる記者が週末の2日間、「脱プラスチック生活」をしてみました。

縮む日本の先に 都会に暮らす

1面ほか 23日(日)から



海浜ニュータウンから

高度経済成長時代、地方から人を吸い込むように膨張してきた東京も2025年に人口減に転じるとされています。東京で働く人の受け皿になった首都圏の大規模ニュータウンでは、全国平均を上回るペースで高齢化が進み、都市が直面する課題が先取りして起きています。

都会の暮らしはどうなるのか。最も高齢化する千葉県の「海浜ニュータウン」を舞台に考えます。

お知らせ：12月28日、2019年1月4日の「来週の売り物記事はこれ」はお休みします。